

旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net

お元気ですか



こんにちは。笠木かおるです。
通信29号をお届けします。
どうぞ、お気づきの点、
お気軽にお声をかけてください。



【解説】

いくら予算があっても不必要な事業は行わないという意識が芽生えてきたように思います。従前は、「予算を使い切らなければ仕事をしていない」という評価や、剰余金をだすと「予算編成の見とおしが甘かったのではないか」との議会からの指摘もあったため、経営意識というもの希薄でした。

しかし、企業とは違い、剰余金をだせばいいというものでもありません。不用額がでる科目は年度途中で速やかに減額し、市民にとって必要な科目に増額補正するという機動的な事業展開が必要となっています。この作業が今までやられていません。

また、翌年度補正財源のための繰越金も一定額は確保していくことが求められています。

水道・下水道会計決算

(笠木) 施設整備もすすみ、事業の安定期に入るはずが、企業債の元金償還と利息支払いが原因で資金収支の悪化が予想されている。

繰上げ償還や低利借換を行えないか。また、平準化債の活用はできないか。

(答弁) 繰上げ償還は補償金を支払わなければならないメリットがない。借換制度はあるが条件があり対象にならない。平準化債の対象が拡大されたため、下水道は活用できる見とおしとなったが水道は対象となっていない。

【解説】

水道は前年度比で1億8千万円、下水道は2億4千万円、事業成績が改善されています。

しかし、水道は19年度、下水道は18年度に資金収支が底をつく試算されています。この要因は、年利8%などの高金利の借金があり、利息や元金支払いが莫大だからです。

下水道は平準化債を活用できることになったため値上げはありまんが、水道料金の値上げを回避する分水嶺はただ一つ、借換制度と平準化債の活用ができるかにあります。

病院事業会計決算

(笠木) 前年度比で5億2千万円、経営成績が改善されているが、この傾向は今後も続けられるか。

(答弁) 病院を取巻く環境は依然非常に厳しいが、院内あげて経営の改善に取り組んでいく。

【解説】

「市立病院はつぶれるのではないか」との声すらありましたが、15年度では資金収支で5億1千万円、プラスに転じるという決算となりました。一定の展望が開けた決算となっています。



日本郵政公社存続に関する意見書を採択



第3回定例会で日本郵政公社と郵政3事業の存続を求める意見書が全会一致で採択されました。郵便局は過疎地や高齢者にとって「安心の砦」です。私も提出者として汗をかかせていただいただけに、非常に嬉しさを感じた一幕でした。



15年度決算認定に関し本会議場で大綱質疑に立つ

決算に対する大綱質疑に立ちました

第3回定例会は9月15日に開会し、10月14日までの30日間の日程で開かれました。

今定例会は、15年度決算認定を中心議題とするもので、私は、決算に対する大綱質疑を行いました。

以下、質問要旨です。

一般会計決算

- (笠木) 24億6千万円の繰越金についての所見は。
- (答弁) 翌年度の補正財源を考えると一定の剰余金は必要である。
- (笠木) 剰余があるのに5億円の新たな借入れを行ったことに市民の間に批判がある。元金の2分の1と、利息の2分の1は交付税措置されることが市民に伝わっていない。5億円使えて返済は2億8,600万円済むのであれば今回の借入れは市民利益につながったのではないか。
- (答弁) 元金の2分の1も交付税で戻ってくるものである。
- (笠木) 経過として、決算見込みの甘さがあったのではないか。
- (答弁) 決算見込み把握の回数を増やすなどの確かな把握につとめる。
- (笠木) 官庁簿記、単式簿記の弱点であった「予算を使い切ることが立派な仕事」という意識は払拭されたか。
- (答弁) 引き続き、「使い切る」という意識を払拭し、決算主義を定着させたい。
- (笠木) 予算執行に際し機動性や柔軟性を持つには、不必要になった予算を速やかに減額し、新たな需要を増額するという、年度途中の積極的な補正予算作業が必要ではないか。
- (答弁) 実態と予算との乖離を是正するため、早期補正措置は重要であると考えられ、今後検討していく。
- (笠木) 剰余金が発生した場合の取扱いとして、基金条例の改正も行っておくべきではないか。
- (答弁) 基金条例の改正を検討したい。
- (笠木) 全国35の中核市で、市税収入の占める割合は最下位で、地方交付税の占める割合が最も多くなっている。財政力指数も、中核市では最低である。今後、財源確保の見とおしをどのようにお持ちか。
- (答弁) 今後も更に厳しい状況が想定され、一層の効率的な事務執行を行う。
- (笠木) 投資的経費が激減しており、公共事業は前年比で約4割減ったと推計できるが、今後の事業展開をどう考えるか。
- (答弁) 例えばPFI手法の活用や民間活力を導入する手法を検討して必要な事業が停滞することのないよう工夫していく。



8月20日、ビールパーティには沢山の皆様にご参加いただきました

ビールパーティ、ありがとうございました

連合後援会（山川博千会長）主催で8月20日、「笠木かおる君を囲むビールパーティ」を開いていただきました。

当日は夜分にもかかわらず、500名以上の皆様にご参加いただき、また、安井吉典元衆議院副議長や青木延男元道議会副議長などにも激励をいただきました。抽選会では人気パーソナリティのケロコさんも飛び入りで司会をしてくださりました。

諸準備くださいました皆様、足をお運びいただいた皆様、本当にありがとうございました。いただいたパワーで、元気にがんばっています。



台風18号被害、現地を走りました。

9月10日、台風18号被害調査のため、近隣農家に足を運びました。被害状況は予想をはるかに越え、自然災害の恐ろしさを改めて実感しました。

旭川市議会は10月14日、約3億3千万円の台風関連予算を可決しました。

春の暴風雪での被害に続き、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。



小北庭園、お披露目を祝う



東旭川町倉沼の小北定一さん宅で10月10日、小北庭園のお披露目式があり出席しました。

先代から引継いだ池を中心に、その周辺を小北さん自身が丹念に時間をかけて整備してきたものです。池には約千匹の鯉が放されています。そこから見る夕日も美しく、お天気の良い日には市内中心部のグランドホテルまでも見えます。

是非一度、足を運んでください。旭山周辺には動物園だけではなく、素晴らしい「穴場」が沢山ありますヨ。

パークゴルフには273名のご参加



第4回笠木かおる杯親睦パークゴルフ大会（山川博千実行委員長）が9月25日、ぴっぴPG場で開かれ、天候にも恵まれ273名の皆様にご参加いただきました。

男性の優勝は田中豊秋さん（スコア104）、女性の優勝は小西和子さん（スコア105）でした。

旭川市パークゴルフ協会（斉藤政秋会長）の顧問をさせていただいていることもあり、協会の皆様にも大変お世話になりました。

斉藤会長様が成績表を作成してくださいましたので、ご希望の方はご連絡ください。

嵐山を視察

このほど、斉藤政秋会長さん達と造成中の嵐山パークゴルフ場を視察しました。工事は順調で来年7月に一部オープンします。



ポストが新設されました

建部昭吾東部シルバークラブ会長さん達と要望していた郵便ポストがこのほど、東光3条8丁目のセブンイレブン前に新設されました。

遠藤和夫東郵便局長様はじめ関係者の皆様、ありがとうございました。是非、多くの皆様のご利用を。



第3回定例会では、民生建設公営企業分科会委員長に指名され決算認定審査の議長役をつとめました。

長丁場の定例会だっただけに精神的にも多少の疲れを感じました。

終わってみれば議場の外はもう秋。旭岳にも初冠雪の便りです。これから白雪色は一気に高度を下げ平野へと駆け込めます。身の引き締まる冷たい空気も、また、いいものです。

どうぞ、深秋を楽しくお過ごしください。

